

授業科目

介護におけるコミュニケーションII

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|---------------|
| 担当教員名 星 紀恵子 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 社会（介護福祉コース必修） |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |

授業の概要

「介護におけるコミュニケーションI」の知識・技術を踏まえ、利用者や利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーションを身につける演習を行う。

授業の目的

介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解し、利用者や利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。

学習目標

- 1 感覚機能、運動機能、認知機能、知覚機能が低下している利用者の状態を理解することができる。
- 2 介護におけるチームのコミュニケーションに必要な記録や報告書等について学び、その技法を習得することができる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|--------------------------|--------------|-------|
| 1 | コミュニケーション障害 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 2 | 障害のある利用者への対応の視点 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 3 | 視覚障害に応じたコミュニケーション技法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 4 | 聴覚障害に応じたコミュニケーション技法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 5 | 認知症に応じたコミュニケーション技法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 6 | 言語障害に応じたコミュニケーション技法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 7 | 知的障害、精神障害に応じたコミュニケーション技法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 8 | 運動障害に応じたコミュニケーション技法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 9 | チームのコミュニケーションとその方法 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 10 | 介護における記録の意義と目的と種類 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 11 | 記録の書き方と留意点 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 12 | 記録の活用と保護と管理 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 13 | 「報告」「連絡」「相談」の意義と目的 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 14 | 会議の意義、目的、方法、留意点 | 演習 | 星 紀恵子 |
| 15 | まとめ | 演習 | 星 紀恵子 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科書 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

試験・レポート、授業態度で評価する。

履修上の留意点

グループ討議では、積極的に発言すること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜日 9：00～13：00
研究室：E棟E309 E-mail:hoshi@nuhw.ac.jp